

第 I 部 診断のチェックポイント

第 1 章 問診と身体所見のチェックポイント

日高 勲 14

- I 患者へのアプローチ／14
- II 急性肝障害が疑われるとき／15
- III 慢性肝障害が疑われるとき／17
- IV 視 診／17
- V 腹部所見／17
- VI その他の身体所見／19

第 2 章 肝機能検査を読むときのチェックポイント

1. 血清酵素値の異常をみたとき

由雄祥代 20

- I 肝逸脱酵素：AST(GOT)，ALT(GPT)，LDH／20
- II 胆道系酵素： γ -GTP，ALP／21
- III 肝障害を発症しうるその他の病態／22
- IV 肝機能検査値異常の鑑別診断／23

2. ビリルビンの異常をみたとき

大久保裕直，池嶋健一 26

- I ビリルビンの代謝について／26
- II 間接型高ビリルビン血症／28
- III 直接型高ビリルビン血症／29

3. 肝予備能をみる検査

多田俊史，熊田 卓，狩山和也 31
平岡 淳，豊田秀徳，中村進一郎

- I アルブミン／31
- II プロトロンビン時間／33
- III 総コレステロール／33
- IV インドシアニングリーン(IG)試験／33
- V 肝予備能の指標／33

4. 肝腫瘍マーカーのチェックポイント

瀬戸山博子，田中靖人 37

- I AFP(α -フェトプロテイン)／37
- II レクチン結合型 AFP(AFP-L3 分画)／38
- III PIVKA-II／39
- IV CEA(癌胎児性抗原)，CA19-9(糖鎖抗原 19-9)／40

5. 肝線維化マーカーのチェックポイント	坂本和賢, 伊藤清顕	43
I ヒアルロン酸／44		
II IV型コラーゲン・7S／44		
III P-III-P／44		
IV M2BPGi／44		
V オートタキシン／45		
6. 本邦における肝硬変の疫学	浅岡良成	48
I 肝硬変の成因に関する全国調査／48		
II ウイルス性肝硬変の疫学／49		
III 肝硬変症例数の推定／51		
IV 肝硬変症例の死亡者数／51		
7. 本邦における肝細胞癌の疫学	建石良介	53
I 背景肝疾患の推移／53		
II 肝細胞癌平均年齢の推移／53		
III C型肝炎に起因する肝癌／55		
IV B型肝炎に起因する肝癌／55		
V 非B非C型肝癌の動向／56		
第3章 肝炎ウイルスマーカーのチェックポイント	梅村武司	59
I 急性肝障害をみたときの肝炎ウイルスマーカー／59		
II 慢性肝障害をみたときの肝炎ウイルスマーカー／61		
第4章 肝画像診断のチェックポイント		
1. 肝障害患者のエコーによる肝疾患画像	西村貴土, 吉田昌弘, 東浦晶子 榎本平之, 飯島尋子	62
I B-mode エコー／62		
II 造影エコー／68		
2. 肝障害患者の肝硬度測定	玉城信治	72
I 超音波エラストグラフィ／73		
II MR エラストグラフィ／74		
3. 肝内占拠性病変(SOL)の鑑別	木戸秀典, 山下竜也, 高田 昇 山下太郎	79
I 超音波検査(造影を含めて)／79		
II 造影CT／80		
III MRI／80		
IV 血管造影(血管造影下CT)／82		
V PET-CT／82		
VI 肝SOLの鑑別診断のチェックポイント／82		

第5章 肝疾患鑑別診断のチェックポイント

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------------|-----|
| 1. 薬物性肝障害が疑われるとき | 伊藤隆徳, 山本崇文, 水野和幸
石上雅敏, 川嶋啓揮 | 87 |
| I DILI の診断基準／87 | | |
| II DILI の起因薬物／89 | | |
| III DILI の特殊型／91 | | |
| 2. 肝炎ウイルス以外のウイルス性肝障害が疑われるとき | 大原正嗣, 須田剛生, 坂本直哉 | 95 |
| I EBV／95 | | |
| II CMV／97 | | |
| III COVID-19／97 | | |
| 3. 肝硬変での凝固系因子の異常 | 小倉 英, 杉本和史, 中川勇人 | 100 |
| I 血液凝固と肝疾患／100 | | |
| II 凝固系検査法の読み方／103 | | |
| III 凝固因子の欠乏による疾患／104 | | |
| 4. 自己免疫性肝炎の診断 | 阿部雅則 | 106 |
| I 概 念／106 | | |
| II 診 断／107 | | |
| III 診断基準, 診断指針／109 | | |
| IV 鑑別診断／109 | | |
| V 重症度分類／111 | | |
| 5. 胆汁うっ滞疾患の鑑別診断 | 阿部和道, 高橋敦史, 大平弘正 | 113 |
| I 原発性胆汁性胆管炎(PBC)の鑑別診断／113 | | |
| II 原発性硬化性胆管炎(PSC)の鑑別診断／115 | | |
| III 自己免疫性胆管炎(AIC)の鑑別診断／118 | | |
| 6. アルコール性肝炎, 非アルコール性脂肪肝炎の診断 | 藤井英樹 | 119 |
| I アルコール性肝炎の診断／119 | | |
| II 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の診断／120 | | |

第6章 肝硬変合併症診断のチェックポイント

- | | | |
|------------------------|------------|-----|
| 1. 食道胃静脈瘤の診断 | 長沖祐子 | 124 |
| I 内視鏡診断／124 | | |
| II その他の診断／126 | | |
| III その他の注意すべき内視鏡所見／127 | | |
| 2. 腹 水 | 瓦谷英人, 吉治仁志 | 130 |
| I 腹水の診断／130 | | |
| II 腹水の原因・鑑別診断／131 | | |
| III 肝硬変における腹水発症の病態／132 | | |
| IV 腹水の分類／133 | | |

3. 肝性脳症の診断	近藤泰輝, 諸沢 樹	136
I 理学所見, 画像所見		136
II 血液生化学検査		137
III 脳波, 大脳誘発電位		138
IV 精神神経機能検査		138

第7章 慢性肝疾患における肝細胞癌診断の チェックポイント	中川美奈, 村川美也子, 金子 俊 朝比奈靖浩	141
I 肝癌発生の高危険群とは		142
II 画像検査の種類と頻度		144
III 肝細胞癌をスクリーニングするバイオマーカー		144
IV 慢性肝炎患者フォローアップの要点		145

第Ⅱ部 治療のチェックポイント

第1章 急性肝炎治療のチェックポイント	春日良介, 中本伸宏, 金井隆典	150
I 急性肝炎治療の概要		150
II B型肝炎		151
III C型肝炎		152
IV A型肝炎・E型肝炎		152
V 自己免疫性肝炎(AIH)		153
VI EBウイルス・サイトメガロウイルス		153

第2章 慢性肝炎薬物療法のチェックポイント

1. B型慢性肝炎の治療目標	榎本 大	155
I 自然経過		155
II 病態進展に関連する因子		156
III どのような患者を治療介入の対象とするか — 短期目標・長期目標		157
IV 治療基準を満たす患者には即介入すべきか		158
V 治療基準を満たさない患者には介入しなくてよいのか		159
2. B型慢性肝炎の薬物療法	保坂哲也	160
I インターフェロンと核酸アナログ製剤の特徴		160
II インターフェロン(IFN)治療		161
III 核酸アナログ治療		163
IV 今後のB型肝炎に対する新規治療		165
3. C型慢性肝炎の薬物療法のチェックポイント	瀬崎ひとみ	167
I どのような症例を治療介入の対象とするか		167
II 直接型抗ウイルス薬(DAA)とは?		169
III DAA選択のポイント		170

4. C型肝炎ウイルス排除後のチェックポイント	足田隼人	172
I DAA の治療介入はC型肝炎患者の肝予備能、肝線維化や肝発癌 ならびに予後を変えたか／172		
II HCV 排除後の肝発癌のサーベイランス対象および期間は／174		
5. 自己免疫性肝炎の薬物療法	川田一仁	177
I 治療目標／177		
II 治療対象／177		
III 治療方針／178		
IV 治療反応性の定義／180		
V 薬物療法の注意点／180		
VI 予 後／180		

第3章 アルコール性肝障害治療のチェックポイント	今 一義	182
I アルコール性肝障害の現状と疾患概念／182		
II アルコール性肝障害の成因／183		
III アルコール性肝障害の治療／184		
IV ハームリダクションについて／184		
V 重症アルコール性肝炎の診断・治療／184		

第4章 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 治療の チェックポイント	鎌田佳宏	187
I NAFLD の成因／188		
II NAFLD の診断／189		
III NAFLD の治療／190		
IV NAFLD の予後／191		

第5章 急性肝不全治療のチェックポイント	内田義人	193
I 急性肝不全の概念と診断基準／193		
II 全身管理／196		
III 合併症対策／196		
IV 肝機能不全に対する特殊療法／196		
V 抗ウイルス療法／197		
VI 急性肝不全救命率向上の可能性／197		

第6章 原発性胆汁性胆管炎と原発性硬化性胆管炎治療の チェックポイント	城下 智	199
I 原発性胆汁性胆管炎(PBC)／200		
II 原発性硬化性胆管炎(PSC)／204		

第7章 食道胃静脈瘤治療のチェックポイント 石川 剛, 高見太郎 208

- I 食道静脈瘤(食道胃噴門部静脈瘤を含む)／208
- II 胃静脈瘤(おもに胃穹窿部静脈瘤)／210
- III 食道胃静脈瘤の再出血・再発予防／212

第8章 腹水の治療のチェックポイント 中西裕之 215

- I 安静の要否について／216
- II 食事療法／217
- III 薬物療法／217
- IV 難治性腹水の治療／218
- V 特発性細菌性腹膜炎(SBP)の治療／218

第9章 肝性脳症の治療のチェックポイント 華井竜徳, 清水雅仁 221

- I 肝性脳症の分類・診断／221
- II 肝性脳症に対する一般的療法／224
- III 肝性脳症に対する薬物療法／225
- IV シヤント閉塞術(BRTO など)／226

第10章 門脈血栓症治療のチェックポイント 日高 央, 魚嶋晴紀, 草野 央 228

- I 門脈血栓症の疫学／228
- II 肝硬変患者の門脈血栓 — 凝固・抗凝固のインバランスについて／228
- III 門脈血栓症の診断／229
- IV 門脈血栓症の治療 — 薬物療法を中心に／230
- V 予 後／232

第11章 門脈圧亢進症に伴う肺病変のチェックポイント 小木曾智美 233

- I HPS の診断と治療／233
- II 門脈圧亢進症に伴う肺高血圧症の疫学と診断／234
- III PoPH の病態と治療・予後／237
- IV PoPH の推定とスクリーニング／237

第12章 肝細胞癌の治療のチェックポイント

1. 穿刺局所療法 南 康範 239
 - I 穿刺局所療法の焼灼原理／239
 - II 穿刺局所療法の治療対象と使い分け／240
 - III 手技の実際／240
 - IV 注意すべき患者条件／241
 - V 描出困難への対応／242
 - VI 治療効果判定／242
 - VII 合併症／242
2. IVR 治療 小笠原定久, 井上将法, 叶川直哉 244
加藤直也
 - I 肝動脈化学塞栓術(TACE)とは／244
 - II TACE の合併症／246
 - III TACE の効果判定と不応の判断／246
 - IV 現在の肝細胞癌治療体系における TACE の位置づけ／247
 - V 肝動注化学療法(HAIC)とは／247
 - VI 現在の肝細胞癌治療体系における HAIC の位置づけ／248
3. 肝細胞癌の全身化学療法 土谷 薫 249
 - (1) 現在の肝細胞癌診療の本邦のガイドラインについて 249
 - I 薬物療法の適用患者について／250
 - II 一次治療について／250
 - III 二次治療・二次治療以降について／251
 - IV 薬物療法の治療効果判定／251
 - (2) 肝細胞癌に対する全身化学療法の治療成績と今後の展望について 小玉尚宏 253
 - I 一次治療薬の臨床試験成績とリアルワールドデータ／254
 - II 二次治療薬の臨床試験成績／257
 - III BCLC-B(intermediate stage)に対する TACE と全身化学療法併用の臨床試験成績／259
 - IV 今後の展望／259

第13章 肝細胞癌の外科治療と生体肝移植のチェックポイント 河口義邦, 赤松延久, 長谷川潔 262

- I 肝細胞癌の外科治療／262
- II どのような症例に生体肝移植を考えるか／265
- III ドナーの条件／267
- IV 家族への説明のポイント／267
- V 日本における生体肝移植の予後／267

第Ⅲ部 肝疾患の生活指導

第1章 慢性肝炎・肝硬変の生活指導の チェックポイント

中野 暖, 橋田竜騎, 堤 翼 270
天野恵介, 佐野有哉, 川口 巧

- I 慢性肝疾患と食事療法／270
- II 慢性肝疾患と安静／271
- III 慢性肝疾患と運動療法／271

第2章 脂肪肝の新定義「MAFLD」とは

堤 翼, 福永秀平, 川口 巧 276

- I MAFLD とは／276
- II NAFLD と MAFLD の診断基準のおもな違い／277
- III MAFLD に変える利点／278

第3章 慢性肝疾患に伴うサルコペニア

平岡 淳, 多田藤政, 大濱日出子 281

- I サルコペニアの診断基準と予後／281
- II サルコペニアの治療／283

第4章 慢性肝疾患と腸内細菌

土屋淳紀 285

- I 健康な状態での腸でみられる現象／286
- II 腸内細菌とアルコールや非アルコール性脂肪性肝疾患／287
- III 腸内細菌と肝硬変／287
- IV 腸内細菌と肝性脳症／288

索引 290